

1

文の組み立て

考え方

1のように、助詞「こそ」がついて主語になることもありま  
す。3は重文です。4は文の語順が入れかわっています。「君  
の目から大つぶのなみだが、次から次へと落ちる。」というふ  
つうの語順に直すと、主語と述語をつかみやすいでしょう。

4 1とイは単文、2とウは重文、3とアは複文です。

答え

- 1 私の姉の将来の夢は幼いころからずっと同じだ。  
2 かれこそ私たちのチームの代表にふさわしい。  
3 父は母と早朝からゴルフに出かけ、ぼくは友人と遊ぶ。  
4 次から次へと落ちる、君の目から大つぶのなみだが。  
5 日曜日の午後、やわらかな自然の光が、私の部屋をや  
さしく包む。
- 2 1 (主語) ウ (述語) ケ / (主語) カ (述語) キ  
2 (主語) イ (述語) エ / (主語) オ (述語) ケ  
3 (主語) ア (述語) ウ / (主語) エ (述語) ク  
(主語) オ (述語) カ (順不同)
- 3 1 ウ 2 ア 3 イ  
4 1 イ 2 ウ 3 ア

2

品詞

考え方

1 打ち消しの助動詞「ない」は「ぬ」に置きかえられます。ウ  
「終わらぬ」、オ「思いつかぬ」と言いかえることができますね。  
3 1 「様態」を表す「そうだ」は動詞の連用形に接続するので、  
「完成する」を連用形「完成し」に直します。「伝聞」を表す「そ  
うだ」は終止形に接続するので、「完成する」を用います。

4 形容動詞の言い切りの形と「名詞+だ」の見分け方

・直前に「とても」を入れて意味が通る } 形容動詞  
・「だ」を「な+名詞」に置きかえられる }

イ「とてもほがらかだ」「ほがらかな人」と置きかえられるの  
で「ほがらかだ」は形容動詞です。エ「とてもココアだ」「コ  
コアな味」はおかしいので、断定の助動詞の「だ」です。

5 4 「売れる」、5 「あふれる」の「れる」は動詞の一部です。

答え

- 1 ウ・オ (順不同)  
2 1 イ 2 ア  
3 1 明日には完成しそうだ。  
2 明日には完成するそうだ。
- 4 1 エ 2 ア 3 ウ 4 × 5 × 6 イ

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくは  
こちら!

Z会の本



かわいい小学生になろう

考え方

2 1 反対の意味の漢字の組み合わせ、2 似た意味の漢字の組み合わせ、3 上の漢字が下の漢字を修飾(説明)する関係、4 「くを」「くに」という形で、下の漢字から上の漢字にかえて読むもの、5 上の漢字と下の漢字が主語・述語の関係、6 上に打ち消しの漢字がつくものではない。

3 まず 1 2 「暖・善」の似た意味、反対の意味を考えて、残ったものをウ「暖↓( )」「善↓( )」に入れるとよいでしょう。  
 4 音読みをカタカナ、訓読みをひらがなで表すと、次のようになります。①「ジもと」、②「みちジュン」、③「ヤクわり」、④「のはら」、⑤「カンサツ」、⑥「ダイどころ」、⑦「にモツ」、⑧「エホン」。

答え

- |   |     |          |     |          |     |     |     |     |
|---|-----|----------|-----|----------|-----|-----|-----|-----|
| ① | カ・あ | 2        | ウ・お | 3        | エ・か | 4   | ア・う |     |
| 5 | オ・い | 6        | イ・え |          |     |     |     |     |
| 2 | 1   | ケ・シ      | 2   | オ・キ      | 3   | エ・サ | 4   | イ・ク |
| 5 | ウ・カ | 6        | ア・コ |          |     |     |     |     |
| 3 | 1   | ア温・イ寒・ウ冬 | 2   | ア良・イ悪・ウ人 |     |     |     |     |
| 4 | 1   | ウ        | 2   | エ        | 3   | ウ   |     |     |
| 7 | エ   | 8        | ア   |          |     |     |     |     |

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくは  
こちら! /

Z会の本



かっこいい小学生になろう